

# タイの現状と今後の見通し

## 成長率見通しの引下げと政治的混乱を注視

ご参考資料 2015年8月19日

タイでは、2日連続で爆弾テロが発生し、金融市場に影響を与えています。また、同国においては4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率が前年同期比で1-3月期の伸び率を下回り、5四半期ぶりに成長が減速しました。経済の減速と政治的な混乱が続くタイの今後の見通しについてご説明します。

### 爆弾テロは観光産業に痛手： 新憲法成立に伴う正式な政権交代に期待

8月17日、18日に首都バンコクで爆弾テロが発生しました。同国の警察は映像を公開し、容疑者の行方を追っています。昨年5月のインラック政権に対するクーデター宣言以降、タイでは軍事政権による統治が続いています。

タイの上半期のGDP成長率は前年同期比+2.9%となりましたが、中でも観光収入が大きな原動力となりました。今回のテロで、観光客の減少が予想されますが、過去の同様なケースで見ると、減少は一時的なものと捉えられています。ただし、先週中国が人民元の切下げを実施したため、今後の中国人観光客の動向は注視する必要があります。

昨年の暫定政権発足後、政府は経済重視の姿勢を鮮明にし、株価も堅調に推移してきました。今年に入り、米国の利上げ懸念や人民元ショックなど、外的な要因からアジア全体の通貨や株価が弱含みの展開となっています。そのような中、タイでは6月に、新憲法草案の賛否を問う国民投票の実施に向けた暫定憲法修正案を賛成多数で可決しました。国民投票が実施され新憲法が成立すれば、総選挙が行われると見られ、暫定政権から正式な新政権への政権交代が実現すると期待されています。

タイ 株価および予想PERの推移



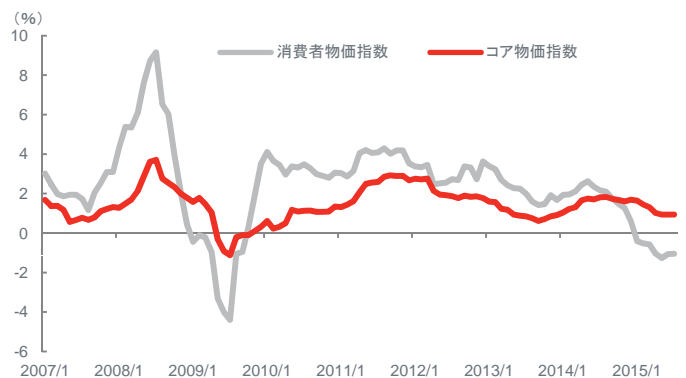
### 当社グループにおける今後の見通し： 短期的な経済減速を注視する必要があるものの タイの健全なファンダメンタルズに変更はなし

7月28日にタイ財務省は、2015年のGDP成長率を前年比+3.7%から同+3.0%に引き下げました。タイの景気や企業業績の回復は緩慢なものとなっています。大規模なインフラプロジェクトの実施が予定より遅れていることも、投資家心理を悪化させています。しかしながら、新憲法の制定後に政権交代が実現すれば、同プロジェクトは加速するものと考えます。

中国の景気減速懸念がアジア地域全体に影響を及ぼしていますが、タイの対中国輸出比率は約12%に過ぎず、その影響は限定的であるとみています。タイ政府は積極的に貿易自由化を促進しており、先進国や他のアジア諸国への輸出の拡大に努めています。

引き続き同国の経済および政治動向を注視する必要があるとありますが、当社グループにおける中長期的なタイのファンダメンタルズ見通しに変更はありません。原油価格は低位安定しており、消費者物価も落ち着いた動きとなっています。また、年初からの株価の調整を受けて、タイ株式市場全体の割高感は解消されつつあります。

タイの消費者物価指数(前年比)



※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシヤル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシヤル・ファイナンシヤル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会